



製品安全データシート

製品名 Loctite
Bigfoot ZV Gray(主剤)
初版 平成 22 年 1 月 8 日
改訂
管理番号 : 165633-0

Product Safety & Regulatory Affairs

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 165633
製品名 : **Loctite Bigfoot ZV Gray (主剤)**
ビッグフット ZV (低臭気グレード) (主剤)
会社名 : ヘンケルジャパン株式会社
住所 : 東京都品川区東品川 2-2-8 スフィアタワー天王洲
電話番号 : 045-758-1820 (ヘンケル技術センター コールセンター)
ファックス番号 : 045-758-1826 (ヘンケル技術センター コールセンター)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

皮膚腐食性 / 刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	区分 2B
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
皮膚感作性	区分 1
発がん性	区分 1B
標的臓器 / 全身毒性 (単回暴露)	区分 1(呼吸器系) 区分 3(気道刺激性)
標的臓器 / 全身毒性 (反復暴露)	区分 1 (呼吸器系、腎臓)
水生環境有害性 (急性)	区分 2
水生環境有害性 (慢性)	区分 2

* 記載のないものは分類対象外または分類できない

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報 皮膚刺激
眼刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
発がんのおそれ
呼吸器の障害



製品安全データシート

製品名 Loctite
Bigfoot ZV Gray(主剤)
初版 平成 22 年 1 月 8 日
改訂
管理番号 : 165633-0

Product Safety & Regulatory Affairs

呼吸刺激を起こすおそれ

長期にわたる、または、反復暴露により呼吸器系、腎臓の障害

水生生物に毒性

長期的影響により水生生物に毒性

使用上の注意

保護手袋を着用すること。取扱い後はよく洗うこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

使用前に取扱説明書を入手すること。すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。必要に応じて個人用保護具を使用すること。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(必要な時以外は)環境への放出を避けること。

応急処置

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。特別処置が緊急に必要である。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。取り扱った後、手を洗うこと。

暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

暴露した時、または、気分が悪い時は、医師に連絡すること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

漏出物を回収すること。

保管及び廃棄方法

施錠して保管すること。
内容物/容器を地方自治体の規則にしたがって廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

その他の有害性

人の健康に対する有害性：眼、皮膚および気道に刺激を起こすことがある。含有するビスフェノール A 型エポキシ樹脂は、労働基準局通達の既存変異化学物質に指定されている。また 感作性物質の為、人に監査を生じさせる恐れがある。



製品安全データシート

製品名 Loctite
Bigfoot ZV Gray(主剤)
初版 平成 22 年 1 月 8 日
改訂
管理番号 : 165633-0

Product Safety & Regulatory Affairs

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物：	混合物
化学特性：	エポキシ系接着剤（主剤）
危険有害成分及び濃度	
成分	wt %
酸化アルミニウム*	20～30
ビスフェノール A 型エポキシ樹脂	10～20
シリカ(石英)*	20～30
アルミノケイ酸塩	20～30
プロピレングリコール モノメチルエーテル*	1～10
酸化チタン*	1～10
カーボンブラック*	0.1～1
* 労働安全衛生法通知対象物質	

4. 応急処置

- 吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移動させる。異常がある場合は医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合： 石鹼と水で良く洗い流す。
- 眼に入った場合： 直ちに流水で 15 分間以上洗眼し、眼科医の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合： 無理に吐かせない。水を飲ませ希釈する。安静にし直ちに医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火方法： 火元への燃焼源を絶ち、適切な保護具（耐火服、手袋、自呼吸式マスク）を着用して風上から消火作業をする。燃焼時に有害なガスが発生する可能性があるためガスは吸入しないようにする。
- 消火剤： 炭酸ガス、泡、粉末

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項： 換気を行う。適切な保護具を着用し眼や皮膚との接触及び吸入を避ける。不活性な材質のものに吸着させ密封できる容器に回収し廃棄するまで安全な場所に保管する。
- 環境に対する注意事項： 下水等流れ出ないように流出防止を図る。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い 技術的対策： 保護具を着用し、眼、及び皮膚との接触を避ける。
- 注意事項： 状況に応じて適切な換気を行い、蒸気の吸入を防ぐ。
- 安全取扱注意事項： 取扱いに関しては、十分注意すること。
- 保管 技術的対策： 特になし。
- 保管条件： 換気された涼しい場所で保管すること。消防法に基づいて適切に保管する。



製品安全データシート

製品名 Loctite
Bigfoot ZV Gray(主剤)
初版 平成 22 年 1 月 8 日
改訂
管理番号 : 165633-0

Product Safety & Regulatory Affairs

容器包装材料 : 現容器にて密閉して保管する。

8 . 暴露防止及び保護措置

保護具 : 簡安全眼鏡又は、ゴーグル。
保護手袋 (ゴム又は、プラスチック製)
局所排気装置等の適切な換気装置

9 . 物理的及び化学的性質

物理的状態 : 液体
色 : 灰色
臭い : 僅かに石油臭
pH : 該当しない
沸点 : 149 以上
密度 : 比重 2.14
溶解性 : 水に不溶
引火点 : 205 以上
爆発特性 : データ無し
蒸気圧 : データ無し
融点/凝固点 : データ無し
自然発火温度 : データ無し
燃焼又は爆発範囲 : データ無し
蒸気密度 : データ無し
オクタノール/水分配係数 : データ無し

10 . 安定性及び反応性

安定性 : 通常の使用においては安定。
特定条件下で生じる危険な反応 : データ無し。
危険有害な分解生成物 : 特に無し

11 . 有害性情報

局所効果 : 眼、皮膚および気道に刺激を起こすことがある。含有するビスフェノール A エポキシ樹脂は、労働基準局通達の既存変異化学物質に指定されている。また 感作性物質の為、人に監査を生じさせる恐れがある。

原料情報

皮膚腐食性 / 刺激性 : 含有成分のデータ
ビスフェノール A 型エポキシ樹脂 区分 2



製品安全データシート

製品名 Loctite
Bigfoot ZV Gray(主剤)
初版 平成 22 年 1 月 8 日
改訂
管理番号 : 165633-0

Product Safety & Regulatory Affairs

プロピレングリコール モノメチルエーテル区分 3

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 : 含有成分のデータ

ビスフェノール A 型エポキシ樹脂 区分 2B

プロピレングリコール モノメチルエーテル区分 1A-2B

皮膚感作性 : 含有成分のデータ

ビスフェノール A 型エポキシ樹脂 区分 1

発がん性 : 含有成分のデータ

シリカ (石英) 区分 1B

カーボンブラック 区分 2

特定標的臓器 / 全身毒性 (単回暴露) : 含有成分のデータ

酸化アルミニウム 区分 3(気道刺激性)

シリカ (石英) 区分 1 (呼吸器系)

プロピレングリコール モノメチルエーテル区分 3 (麻酔作用)

特定標的臓器 / 全身毒性 (反復暴露) : 含有成分のデータ

酸化アルミニウム 区分 1(吸入・肺)

注 : 粉体としての全身毒性であり、樹脂類に練り込まれた系には適用しない

シリカ (石英) 区分 1 (呼吸器系、腎臓)

カーボンブラック 区分 1 (肺)

注 : 粉体としての全身毒性であり、樹脂類に練り込まれた系には適用しない

1 2 . 環境影響情報

現時点でデータ無し

原料情報

水生環境有害性 (急性) : 含有成分のデータ

ビスフェノール A 型エポキシ樹脂 区分 1

水生環境有害性 (慢性) : 含有成分のデータ

ビスフェノール A 型エポキシ樹脂 区分 1

1 3 . 廃棄上の注意

都道府県条例に基づき焼却するか、産業廃棄物として許可を受けた専門業者に委託する。

1 4 . 輸送上の注意

UN Number: 3082

IATA: Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s., Class9, PGIII (Bisphenol A epoxy resin)

Loctite Bigfoot ZV Gray(主剤)



製品安全データシート

製品名 Loctite
Bigfoot ZV Gray(主剤)
初版 平成 22 年 1 月 8 日
改訂
管理番号 : 165633-0

Product Safety & Regulatory Affairs

IMO: Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s., Class9, PGIII (Bisphenol A epoxy resin)

容器に漏れ、破損の無い事を確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み荷崩れの防止を確実にこなう。荷役作業は丁寧慎重に行い、包装容器を破損、転倒しないように取扱う。取扱いに際しては、必ず保護具を着用して作業する。

そのほか、危険有害性の要約、取扱い及び保管上の注意、安全性及び反応性の項を参照するほか、関係法令の定めるところに従う。

5. 適用法令

消防法 : 危険物第四類第三石油類

労安法 : 名称等通知すべき有害物 (酸化アルミニウム、シリカ、プロピレングリコール モノメチルエーテル、酸化チタン、カーボンブラック)

PRTR 法 : 該当しない

毒劇物法 : 該当しない

化審法 : 第 2 種監視化学物質 (ビスフェノール A 型エポキシ樹脂)

16. その他の情報

参考文献 : 314095
JIS Z 7250 : 2005

本 MSDS の内容に関するお問い合わせ :

ヘンケルジャパン株式会社
製品安全性及び規制業務担当
横浜市磯子区新磯子町 27-7
Tel: 045-758-1780
Fax: 045-758-1771
作成者 近藤 由紀子

本製品の技術的なお問い合わせ :

ヘンケルジャパン株式会社
技術サービスグループ
横浜市磯子区新磯子町 27-7
Tel: 045-758-1810
Fax: 045-758-1753

危険・有害性の評価は必ずしも十分でないので取扱いには十分注意して下さい。この情報は、新しい知見及び試験等により改正されることがあります。又、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。



製品安全データシート

製品名 Loctite
Bigfoot ZV Gray(硬化剤)
初版 平成 12 年 3 月 20 日
改訂 平成 22 年 1 月 8 日
管理番号 : 165634-6

Product Safety & Regulatory Affairs

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 165634
製品名 : **Loctite Bigfoot ZV Gray (硬化剤)**
ビッグフット ZV (低臭気グレード) (硬化剤)
会社名 : ヘンケルジャパン株式会社
住所 : 東京都品川区東品川 2-2-8 スフィアタワー天王洲
電話番号 : 045-758-1820 (ヘンケル技術センター コールセンター)
ファックス番号 : 045-758-1826 (ヘンケル技術センター コールセンター)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

* データ不足につき分類できない

最重要危険有害性

分類の名称 : 分類基準に該当しない

物理的及び化学的危険性 : 特に無し

人の健康に対する有害性 : 眼や皮膚に触れると薬傷を起こす可能性がある。蒸気を吸い込むと気道に炎症を起こすことがある。飲み込むと有害である。長時間または繰り返し触れると炎症を起こすことがある。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物 : 混合物
化学特性 : エポキシ系接着剤 (硬化剤)

危険有害成分及び濃度

成分	w t %
ポリアミドアミン	80 ~ 90
変性脂肪族アミン	1 ~ 10
シリカ*	1 ~ 10

* 労働安全衛生法通知対象物質

4. 応急処置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移動させる。異常がある場合は医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 石鹸と水で良く洗い流す。

眼に入った場合 : 直ちに流水で 15 分間以上洗眼し、眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合 : 無理に吐かせない。水を飲ませ希釈する。安静にし直ちに医師の診察を受ける。



製品安全データシート

製品名 Loctite
Bigfoot ZV Gray(硬化剤)
初版 平成 12 年 3 月 20 日
改訂 平成 22 年 1 月 8 日
管理番号：165634-6

Product Safety & Regulatory Affairs

5. 火災時の措置

消火方法： 火元への燃焼源を絶ち、適切な保護具（耐火服、手袋、自呼吸式マスク）を着用して風上から消火作業をする。燃焼時に有害なガスが発生する可能性があるためガスは吸入しないようにする。

消火剤： 炭酸ガス、泡、粉末

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：換気を行う。適切な保護具を着用し眼や皮膚との接触及び吸入を避ける。不活性な材質のものに吸着させ密封できる容器に回収し廃棄するまで安全な場所に保管する。

環境に対する注意事項： 下水等に流れ出ないように流出防止を図る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策： 保護具を着用し、眼、及び皮膚との接触を避ける。

注意事項： 状況に応じて適切な換気を行い、蒸気の吸入を防ぐ。

安全取扱注意事項：取扱いに関しては、十分注意すること。

保管 技術的対策： 特になし。

保管条件： 換気された涼しい場所で保管すること。消防法に基づいて適切に保管する。

容器包装材料： 現容器にて密閉して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

保護具： 簡安全眼鏡又は、ゴーグル。

保護手袋（ゴム又は、プラスチック製）

局所排気装置等の適切な換気装置

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态： ペースト状

爆発特性： データ無し

色： 黄色

蒸気圧： データ無し

臭い： アンモニア臭

融点/凝固点： データ無し

pH： 該当しない

自然発火温度： データ無し

沸点： 該当しない

燃焼又は爆発範囲： データ無し

密度：比重 0.9

蒸気密度： データ無し

溶解性： 水に僅か

オクタノール/水分配係数： データ無し

引火点： 110 以上

10. 安定性及び反応性



製品安全データシート

製品名 Loctite

Bigfoot ZV Gray(硬化剤)

初版 平成 12 年 3 月 20 日

改訂 平成 22 年 1 月 8 日

管理番号 : 165634-6

Product Safety & Regulatory Affairs

安定性 : 通常の使用においては安定。
特定条件下で生じる危険な反応 : データ無し。
危険有害な分解生成物 : 特に無し

1 1 . 有害性情報

局所効果 : 製品としてのデータなし。

1 2 . 環境影響情報

現時点でデータ無し

1 3 . 廃棄上の注意

都道府県条例に基づき焼却するか、産業廃棄物として許可を受けた専門業者に委託する。

1 4 . 輸送上の注意

UN Number: 3066

IATA: Paint, class8, PGIII

IMO: Paint, class8, PGIII

容器に漏れ、破損の無い事を確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み荷崩れの防止を確実に行なう。荷役作業は丁寧慎重に行い、包装容器を破損、転倒しないように取扱う。取扱いに際しては、必ず保護具を着用して作業する。

そのほか、危険有害性の要約、取扱い及び保管上の注意、安全性及び反応性の項を参照するほか、関係法令の定めるところに従う。

1 5 . 適用法令

消防法 : 危険物第四類第三石油類

労安法 : 名称等通知すべき有害物 (シリカ)

PRTR 法 : 該当しない

毒劇物法 : 該当しない

1 6 . その他の情報

参考文献 : (90152a-4) 96231H 209998

JIS Z 7250 : 2005



製品安全データシート

製品名 Loctite
Bigfoot ZV Gray(硬化剤)
初版 平成 12 年 3 月 20 日
改訂 平成 22 年 1 月 8 日
管理番号 : 165634-6

Product Safety & Regulatory Affairs

本 MSDS の内容に関するお問い合わせ :

ヘンケルジャパン株式会社
製品安全性及び規制業務担当
横浜市磯子区新磯子町 27-7
Tel: 045-758-1780
Fax: 045-758-1771
作成者 近藤 由紀子

本製品の技術的なお問い合わせ :

ヘンケルジャパン株式会社
技術サービスグループ
横浜市磯子区新磯子町 27-7
Tel: 045-758-1810
Fax: 045-758-1753

危険・有害性の評価は必ずしも十分でないので取扱いには十分注意して下さい。この情報は、新しい知見及び試験等により改正されることがあります。又、注意事項は通常取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。